

=====

初期投資無しでの速攻省エネ！

STECO の EMC（エスコ）省エネは「電力削減分」からのお支払い！

既に多くの方が中国政府の省エネ政策の恩恵を享受中！

「省エネしたい！」 ならばすぐご連絡を！

=====

☆☆☆☆ 第 18 号 ☆☆☆☆

『賄賂横行、外資系企業に警告』

〇〇〇〇さん！省エネ・環保のエガちゃんです。

今年の上海の夏は尋常では無い暑さの連続のようです。

最近暑くてよく眠れない私もちょっと高血圧気味です。

また、感染症腸炎が流行っているとの情報があります。皆様食べ物には十分お気をつけください。

さて、今日は習近平主席体制になって行われている改革の一つをご紹介します。

<http://www.jiji.com/jc/zc?k=201307/2013071500269>

北京時報の記事から抜粋

『英製薬大手グラクソ・スミスクライン（GSK）の中国現地法人「GSK（中国）投資有限公司」が巨額贈賄容疑で中国公安当局の捜査を受けている事件で、同社中国人幹部 4 人を含め 20 人以上が拘束されたことが、15 日付の中国紙の報道で分かった。』

いわゆるこれまで『必要悪だ』と言われてきた賄賂や金銭授受の習慣にメスが入り始めたと言うことを意味します。

我々省エネ業界でも、この『利権、賄賂』が壁となり正しい設備が導入されず、間違った、もしくは意味の無い設備が導入される例が沢山見かけられましたが、さすがにこれからは『必要悪だ』などと言って見て見ぬふりができない時代となったことを意味しています。

これは当然歓迎すべき事であり、少しでもコストダウンを図りたい企業としては使途不明な経費の元を絶つことのできる一つのチャンスとなるでしょう。

先の省エネセミナーでも強調させていただきましたが、この必要悪問題、実は皆さんに見えている部分は氷山の一角に過ぎません。間違いなく日本人の皆さんの想像を超えた状況にあります。

どんなに省エネを叫んでも、これらのもっと大きな問題が解決されなければ元を絶つことは無理です。

そういうこともあり、最近は『生産効率の改善』も『材料・部材の購買』も『機器の省エネ』も外部委託される企業様が多くなっているのが実情なのです。

内部ではもう二進も三進も行かない状況にあり、総経理と内部スタッフの軋轢を避けるため外部からの力を借りるという方策が最も確実であり、様々なリスクを回避できるベストな道であることが認識されたということでしょうか。

そういう面からも『何故 EMC 事業が奨励されるか』が読み取れます。要するに、EMC にすることで企業としては、購入から保守メンテに至るまで、不要な一切の使途不明金が無くなるからなのです。

〇〇〇〇さん！

中国はある意味、とても省エネ、環境改善のしやすい政治体制と言えます。

今こそ、本気の省エネに取り組みましょう。弊社はどこまでも皆様のお役に立てる体制を整えてご連絡をお待ちしております。

各種省エネ対策はこちらをご覧ください↓

<http://www.steco.asia/service.html>

上海清環環保科技有限公司